

4. セキュリティと著作権保護

4.1 セキュリティ概論

セキュリティモデル

- 脅威
 - 火災、地震
 - 物理的侵入
 - 攻撃
- ⇒脆弱性
 - 物理的
 - ソフトウェアの不具合
 - 修正の未導入
 - 不適切なアクセス許可
 - 手続きの不備
- ⇒被害
 - ハードウェア
 - ソフトウェア
 - データ
 - サービス
 - 社会的信用
 - イメージ

攻撃の目的

- 邪魔 (DoS)
- 盗聴
- なりすまし、権限の取得
- 改ざん
- しらばくれ
- 破壊

攻撃の手段

- 公開情報の分析
- 不正入手情報の活用
- セキュリティホール
- ソーシャルエンジニアリング

攻撃の形態

- 特定相手に直接
- 踏み台・DDoS
- 自己増殖（ワーム・ウィルス）

防御手段

- 入口を狭めて関所を設ける
 - パケットフィルタ
 - ファイアウォール
- セキュリティホールをふさぐ
 - 最新のパッチを適用
 - 最新バージョンへの移行
- 侵入検知・ウィルス検出
 - 既知パターンとのマッチング
 - 一貫性検査
 - エキスパートシステム

ファイアウォールとDMZ

